

MW20



注意

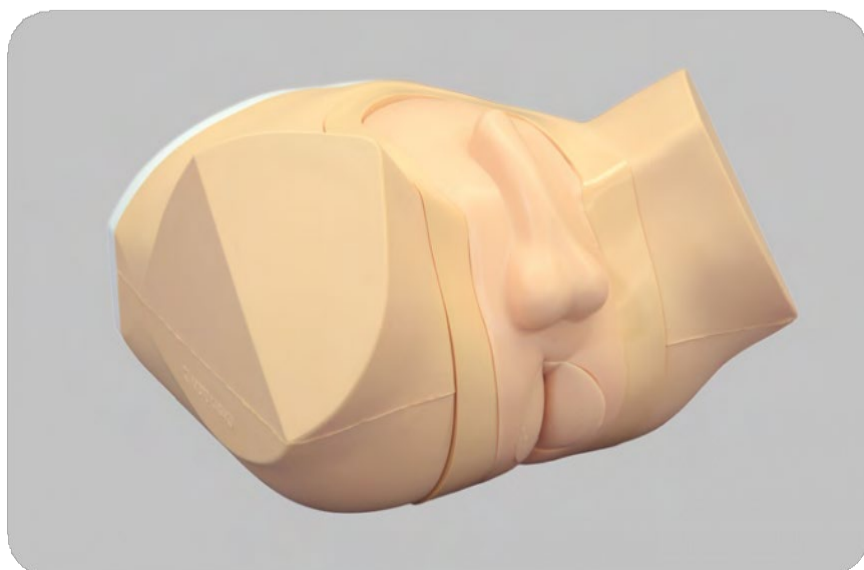
モデル表面に印刷物などが直接触れないように
してください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

前立腺・直腸診シミュレータ

取扱説明書

目次

P.1	はじめにお読みください
	一般事項
P.2～P.5	実習前の準備
P.6	実習／実習後
P.7	前立腺症例の変更
P.8	前立腺症例ユニットの交換
P.9～P.10	直腸ユニットの交換

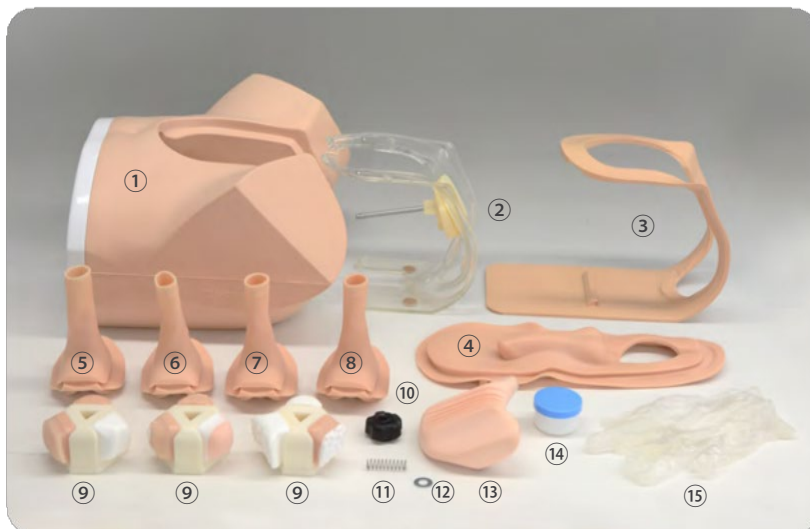


株式
会社 京都科学

セット内容

セット内容

ご使用前に、構成品がすべてそろっているか御確認下さい



- ① モデル本体 1
- ② 内枠 1
- ③ 外枠 1
- ④ 皮膚 1
- 直腸ユニット 4種
- ⑤ 正常 1
- ⑥ がん（小） 1
- ⑦ がん（大） 1
- ⑧ ポリープ（有茎・無茎） 1
- ⑨ 前立腺症例ユニット 3
- ⑩ ノブナット 1
- ⑪ スプリング 1
- ⑫ ワッシャー 1
- ⑬ クッション 1
- ⑭ ワセリン 1
- ⑮ 手袋 1
- 収納ケース 1（図示なし）



※製品は左図の状態で収納されています。

取扱上のご注意

丁寧に取り扱いってください
モデル本体には、軟質特殊樹脂を使用しています。常に十分注意して取り扱いってください

モデル本体や各パッドを、シンナーや有機溶剤で拭かないでください。

ワセリンを使用してください
指診実習を行う際は、必ず指にワセリンを塗布してください。

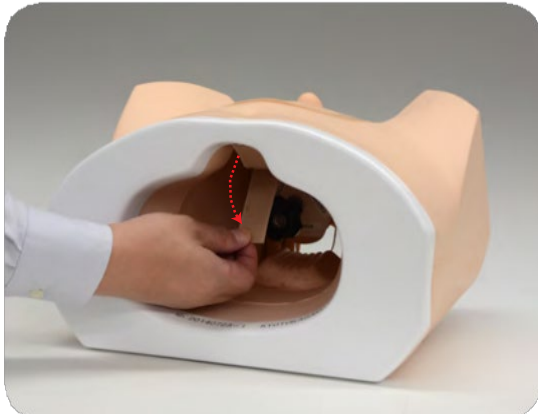
モデル本体および構成品に、ペンなどで書き込まないでください。また、印刷物を製品表面に接触させたまま放置しないでください。インクが付着すると除去できません。

保管について
直射日光、高温多湿を避け、室温で保管してください。

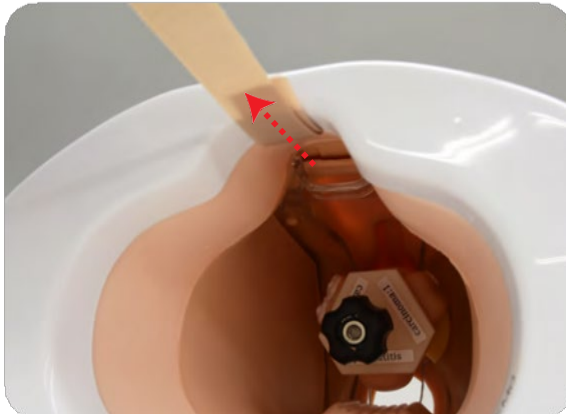
準備

1) 直腸ユニットの取り付け

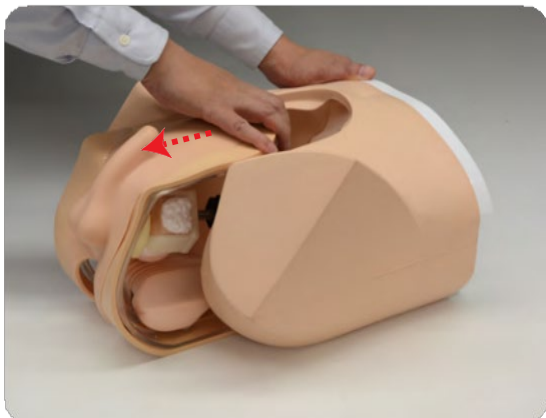
1. 面ファスナーを外し、モデル本体とユニットホルダーの固定を外します。



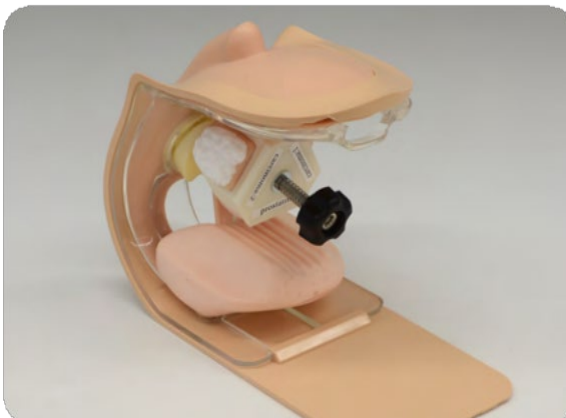
2. モデル本体側の固定部から面ファスナーを引き抜きます。



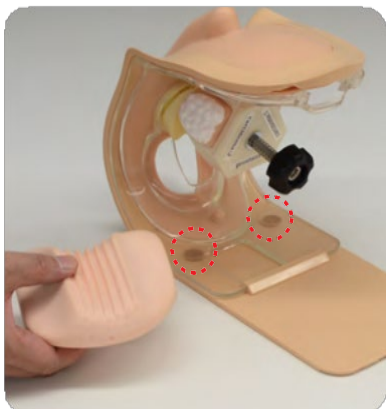
3. モデル本体からユニットホルダーを取り外します。



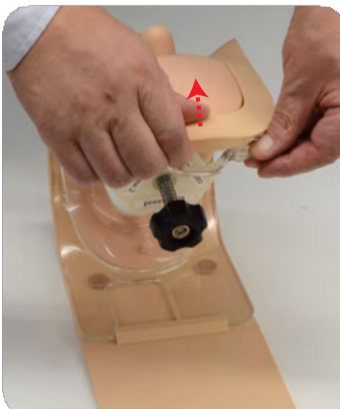
取り外したユニットホルダー



4. クッションを取り外します。
クッションは、2か所の面ファスナーで固定されています



5. 外枠を持ち上げ、皮膚と内枠を下方へ引いて、ユニットホルダーを分解します。



枠の取り外しには、上図の2通りの方法があります。

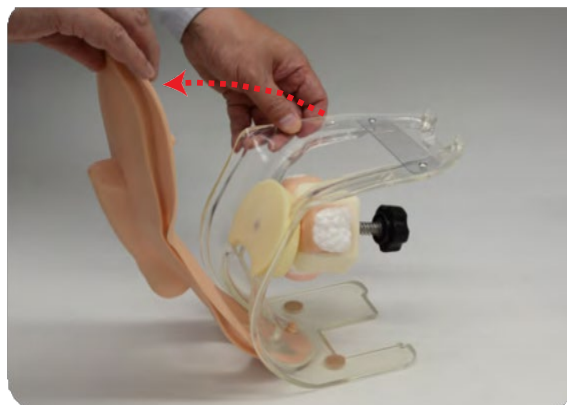
準備

1) 直腸ユニットの取り付け

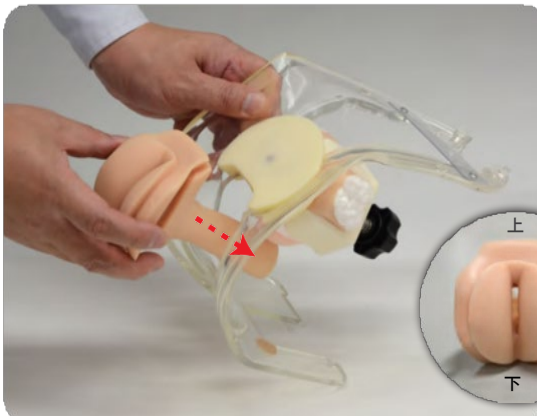
6. 内枠を外枠から取り外します。



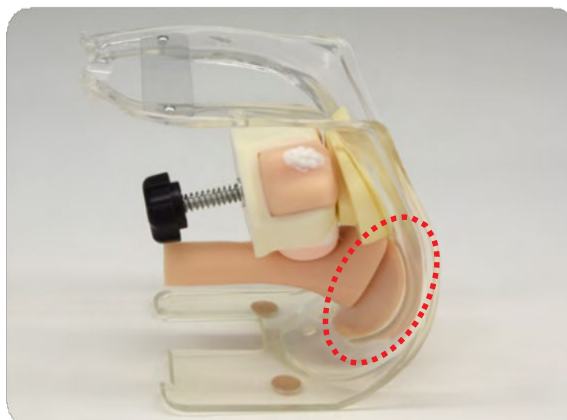
7. 皮膚を取り外します。



8. 直腸ユニットを内枠の取付部に差し込みます。上下の向きを間違えないよう注意してください。



直腸ユニットが内枠の取付部に確実に取り付けられていることを確認してください。



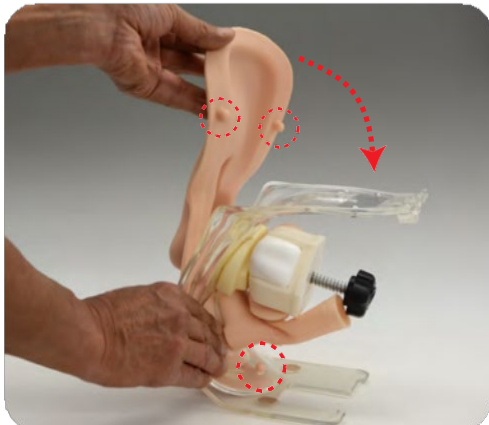
*皮膚を強く引っ張らないようご注意ください。破損するおそれがあります。

準備

1) 直腸ユニットの取り付け

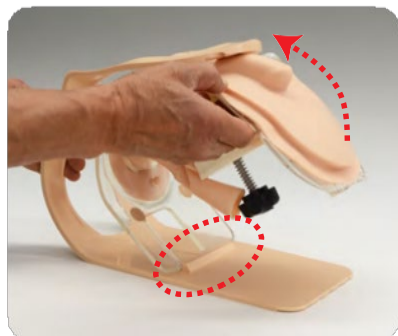
9 皮膚を内枠に取り付けます。

- a) 皮膚の突起部を内枠に差し込みます。 b) 皮膚と直腸ユニットの位置を合わせます。



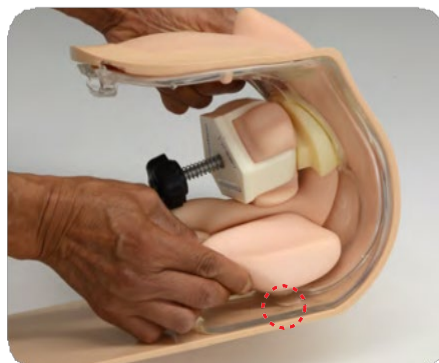
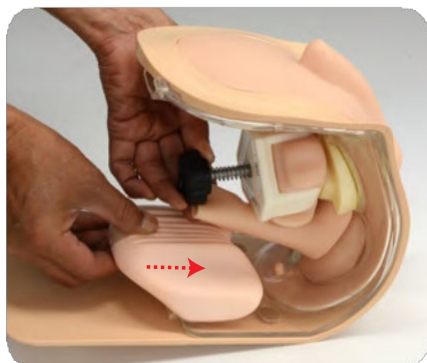
10. 外枠を取り付けます。

- a) 赤丸で示した部分に内枠の下端をあて、外枠を取り付けます。 b) 皮膚と外枠の位置を合わせます。 c) 外枠の縁を内枠の取付部へ押し込みます。



11. クッションを取り付けます。

クッションの向きに注意して取り付けてください。



*クッションを面ファスナーで固定してください。

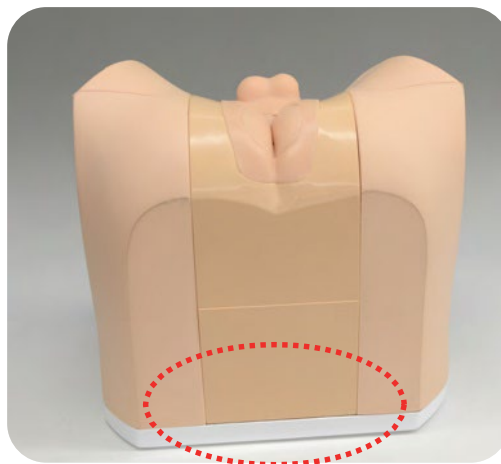


*チューブがねじれていないことを確認してください。

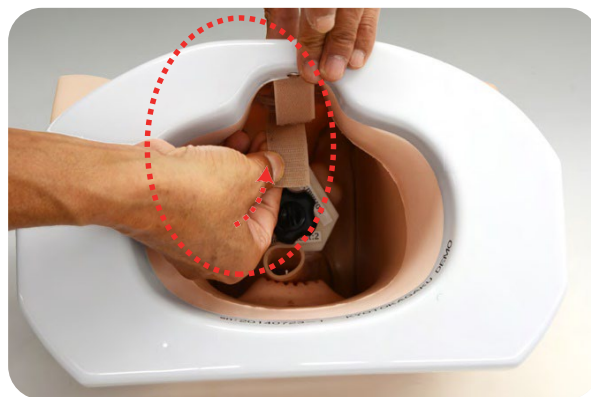
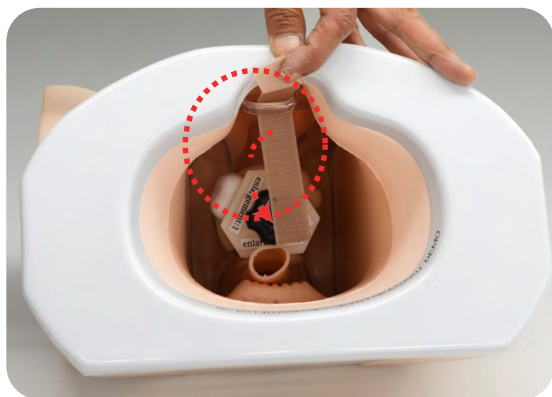
準備

2) 組み立てたユニットの取り付け

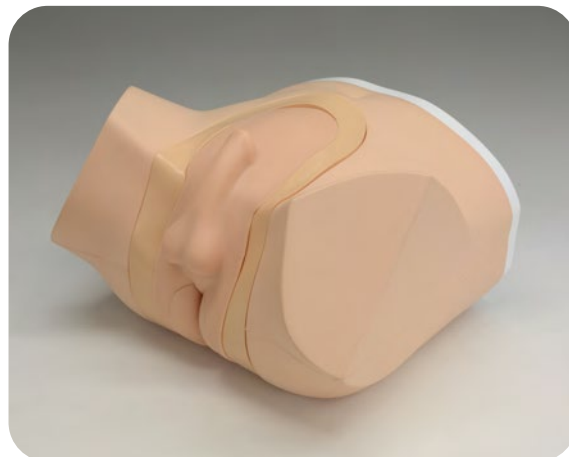
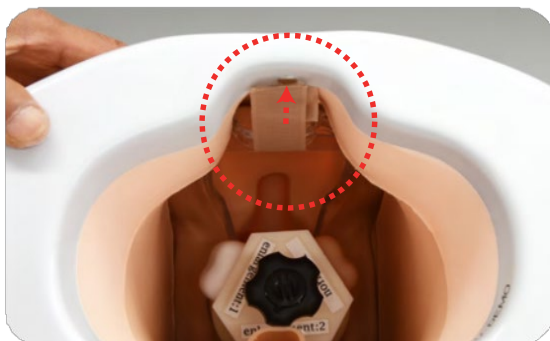
1. 組み立てたユニットをモデル本体に差し込みます。
枠の底板が、モデル本体内側の白色の樹脂枠の内側に収まるように取り付けてください。



2. 面ファスナーを使用して、外枠をモデル本体に固定します。



3. 取り付け完了です。



実習・後片付け

1 実習

本製品は三種類の体位で実習できます



仰臥位

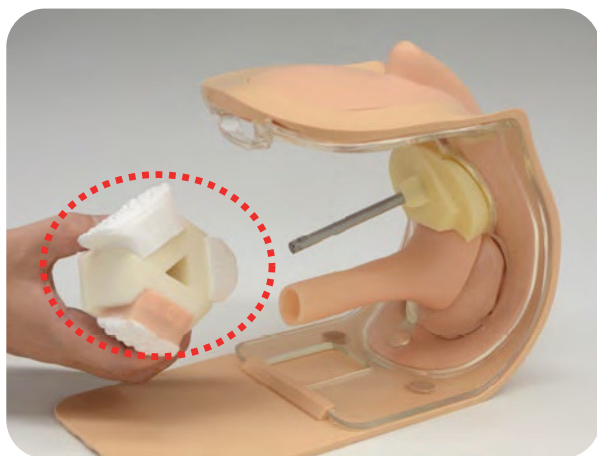


側臥位



腹臥位

後片付け



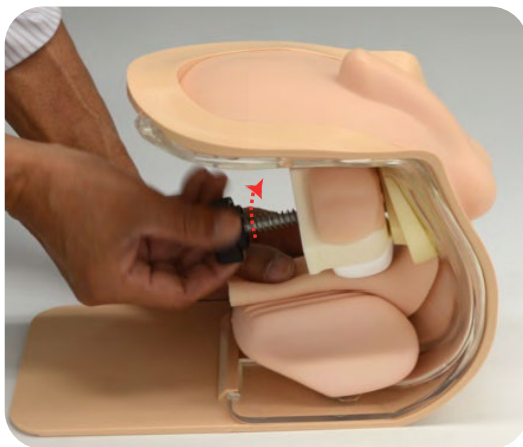
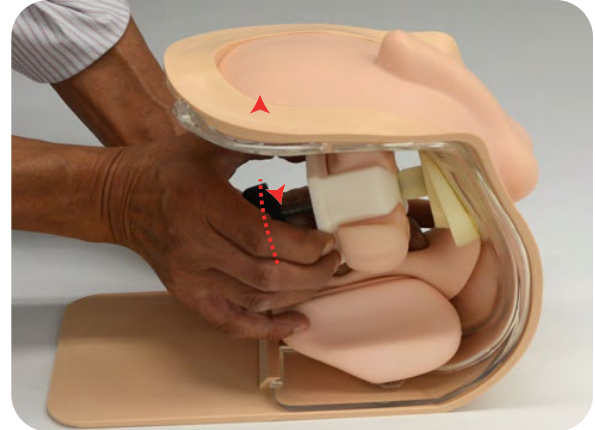
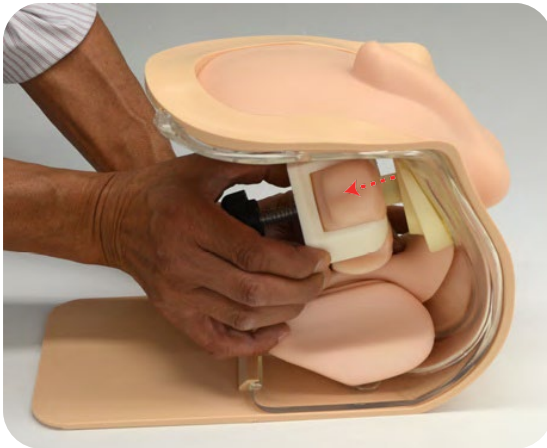
実習後は、残ったワセリンを固く絞った布で拭き取ってから保管してください。
モデル本体の皮膚表面にベビーパウダーを薄く付けると、清潔な状態を保てます。

実習終了後は、前立腺症例ユニットを取り外してください。

前立腺症例の切替え

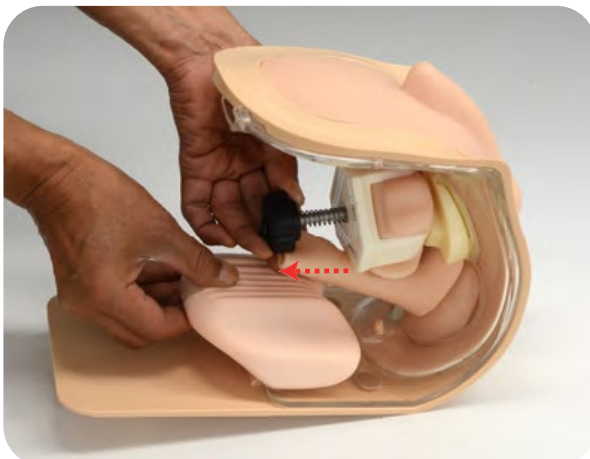
前立腺症例の切替え

1. 前立腺症例ユニットには、それぞれ3種類の症例が組み込まれています。
前立腺症例ユニットを回転させることで、症例を切り替えることができます。
症例を切り替えた後は、前立腺症例ユニットを元の正立位置に戻してください。
直腸ユニットを押さえながら前立腺症例ユニットを手前へ引き、回転させて症例を変更します。



*図ではモデル本体を取り外した状態で説明していますが、モデル本体に取り付けたままでも交換できます。

※直腸ユニットがねじれた場合は、クッションを取り外すと元の位置へ戻しやすくなります。

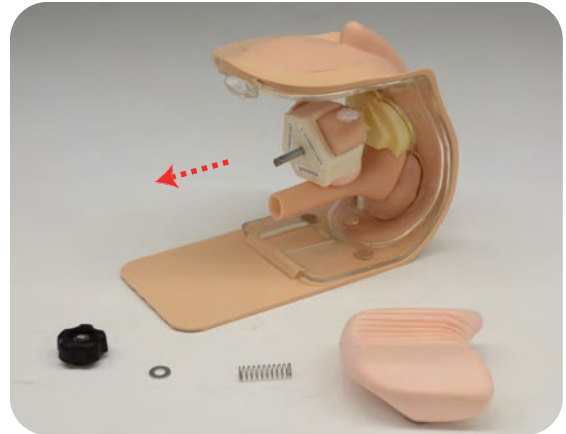
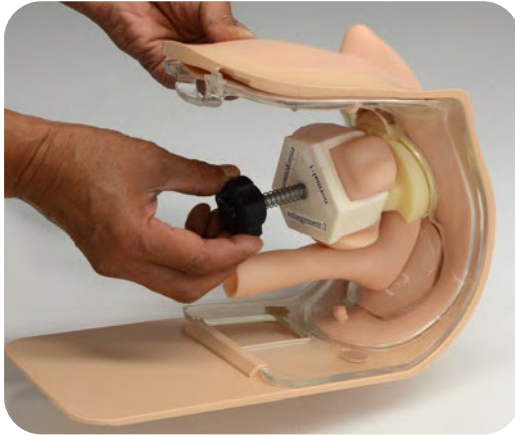


前立腺ユニットの交換

前立腺症例ユニットの交換

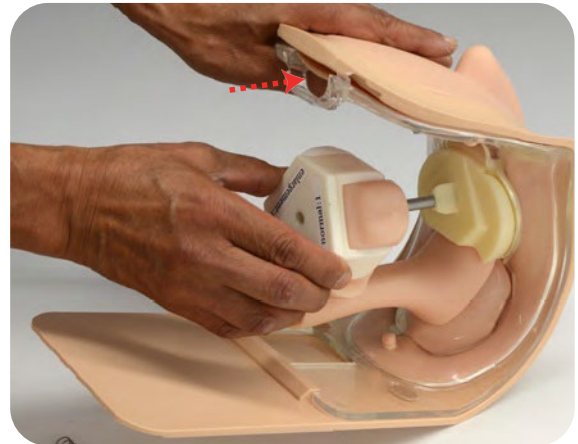
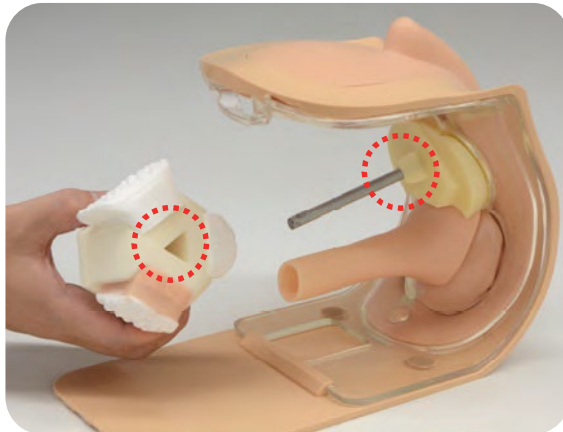
1. クッションを取り外します。

前立腺症例ユニットを取り外すには、ノブナット、スプリング、ワッシャーの順に取り外してください。



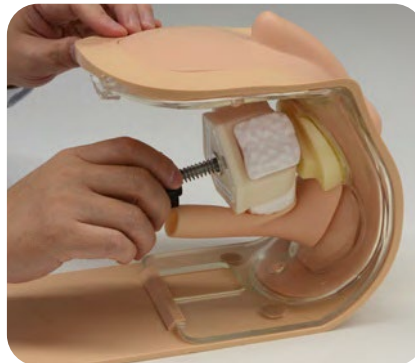
2. 新しい前立腺症例ユニットを取り付けます。

ユニット中心の三角形の孔の向きを内枠の三角形の突起に合わせて位置を調整してください。



3. 前立腺症例ユニット、ワッシャー、スプリング、ノブナットの順に組み付けます。

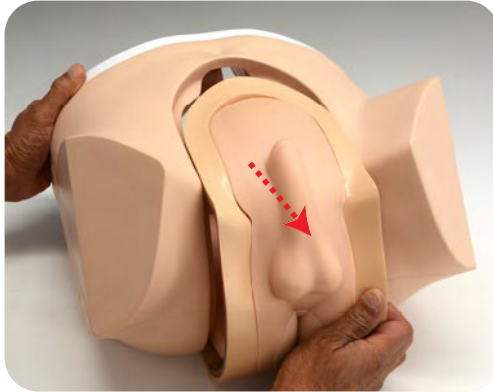
最後にクッションを取り付けてください。



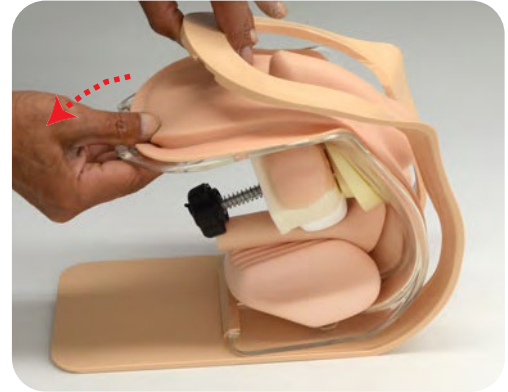
直腸ユニットの交換

直腸ユニットの交換

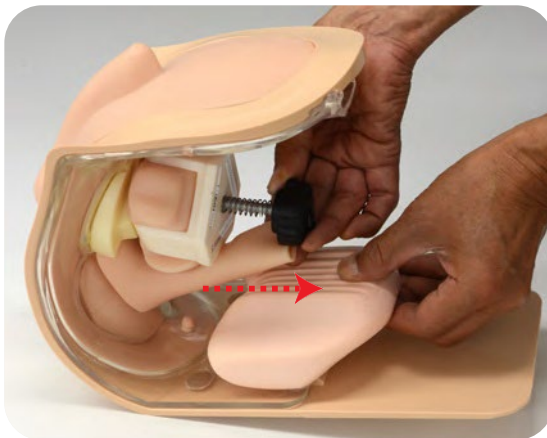
1. モデル本体からユニットホルダーを取り外します。



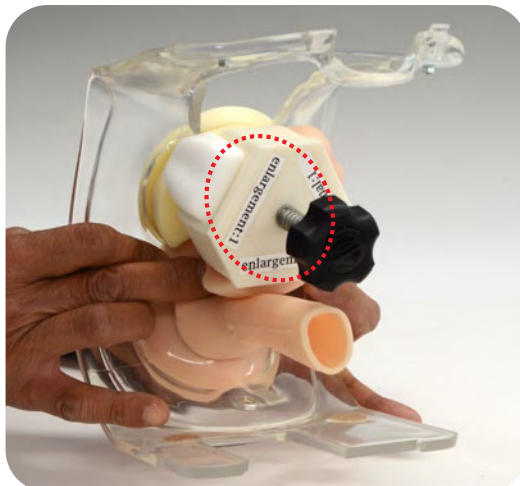
2. 外枠から内枠を取り外します。



3. クッションを取り外し、続いて皮膚を取り外します。



4. 赤丸で示した部分を押し下げながら、直腸ユニットを内枠から取り外します。



*皮膚を強く引っ張らないようご注意ください。破損するおそれがあります。

直腸ユニットの交換

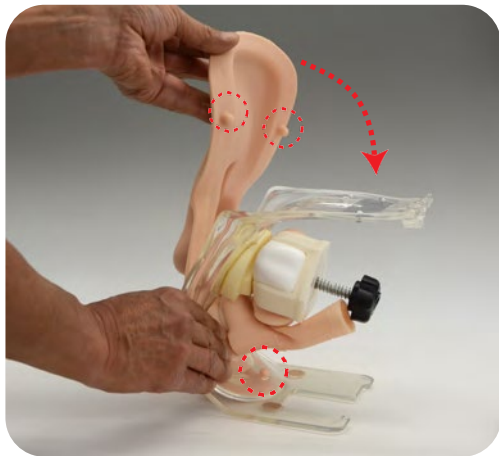
直腸ユニットの交換

5.新しい直腸ユニットを内枠へ取り付けます。
直腸ユニットが内枠に確実に取り付けられていることを確認してください。

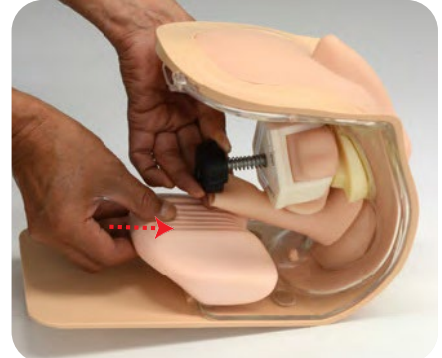


6. 皮膚を内枠へ取り付けます。
a) 皮膚の突起部を内枠へ差し込みます

b) 皮膚と直腸ユニットの位置を合わせます。



7.外枠を取り付けた後、クッションを取り付けます。



ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



株式
会社

京都科学

URL

<http://www.kyotokagaku.com>

e-mail

rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地

TEL：075-605-2510（直通）

FAX：075-605-2519

東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL：03-3817-8071（直通）

FAX：03-3817-8075

2026.07